



平成22年5月13日

各位

上場会社名 STEILAR C. K. M株式会社
 代表者 代表取締役 佐々木 ベジ
 (コード番号 2673)
 問合せ先責任者 取締役(経理・財務担当) 加藤 和弘
 (TEL 03-5369-7831)

特別損失の発生並びに平成22年3月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	4,086	105	28	△57
今回発表予想(B)	4,043	91	30	△67
増減額(B-A)	△43	△14	2	△10
増減率(%)	△1.0	△13.3	7.1	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	4,688	△128	△155	△447

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	3,672	60	5	△71
今回発表予想(B)	3,688	101	37	△142
増減額(B-A)	16	41	32	△71
増減率(%)	0.4	68.3	640.0	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	4,301	△110	△123	△422

修正の理由

(1)個別業績の売上高につきましてはほぼ当初の予想どおり推移し、営業利益は一般管理費の削減等が進み予想を上回る結果となりました。経常利益につきましては、平成21年8月3日付の「第三者割当による募集株式(金銭出資及び現物出資)の発行に関するお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、佐々木ベジ氏(現当社代表取締役)を割当先とした第三者割当増資を実施したことにより、株式交付費として14百万円の営業外費用などを計上したものの、前述の営業利益の増加により、当初の予想を上回る結果となりました。当期純利益につきましては、下記のとおり特別損失184百万円を計上したことによるものが主な要因であります。

(2)連結業績につきましては、上記の個別業績の影響によるものであります。

特別損失の計上について

平成22年3月期個別業績において以下の184百万円の特別損失を計上いたします。主な内訳は以下のとおりです。

(1)平成21年6月22日付「特別損失の発生並びに平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期(連結・個別)業績予想の修正」でお知らせいたしましたとおり、謝罪広告掲載費36百万円を計上しております。

(2)平成22年7月7日付「特別損失の発生並びに平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期(連結・個別)業績予想の修正」でお知らせいたしましたとおり、労働審判和解金として15百万円を計上しております。

- (3) 当社子会社の株式会社SRプロモーションに対する貸付金に対する引当金として54百万円の貸倒引当金の繰り入れを計上いたします。
- (4) 当社子会社のライフステージ株式会社の株式の減損として25百万円及び同社への貸付金に対する貸倒引当金の繰り入れとして5百万円を計上いたします。
- (5) 使用計画の確定していない遊休資産(温泉設備)について、12百万円の減損損失を計上いたします。
- (6) 機械及び装置等の除却による固定資産除却損を19百万円を計上いたします。

以 上